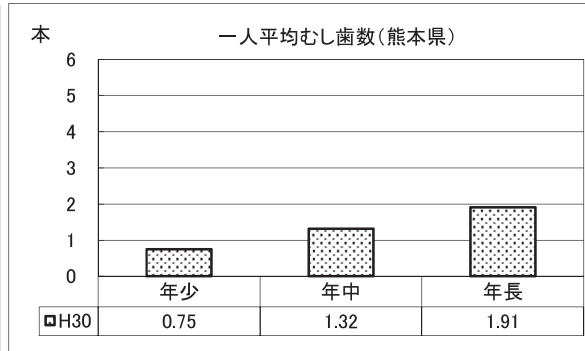
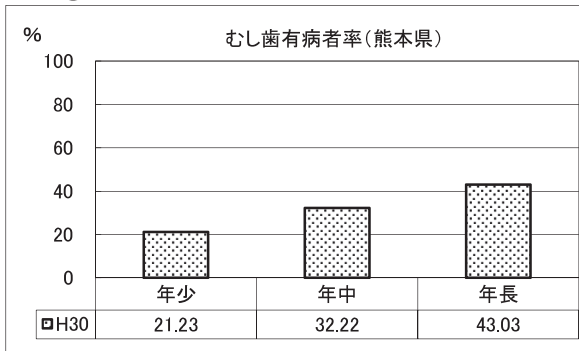


4 歯科疾患罹患状況(平成30年度)

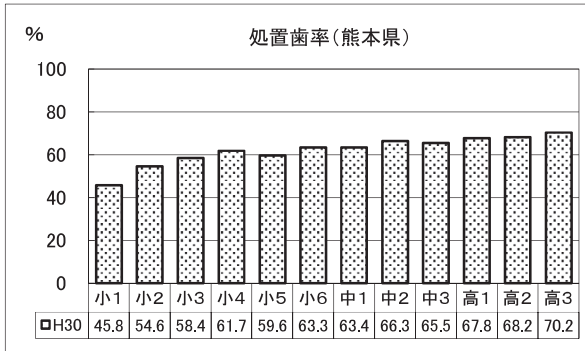
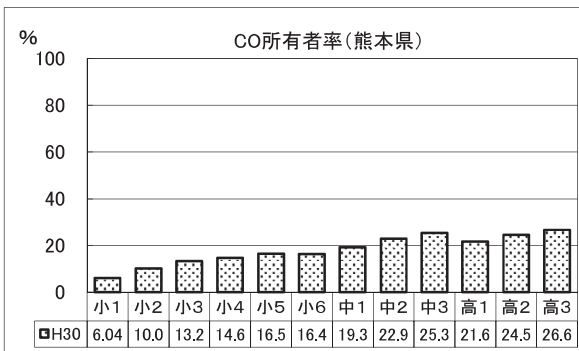
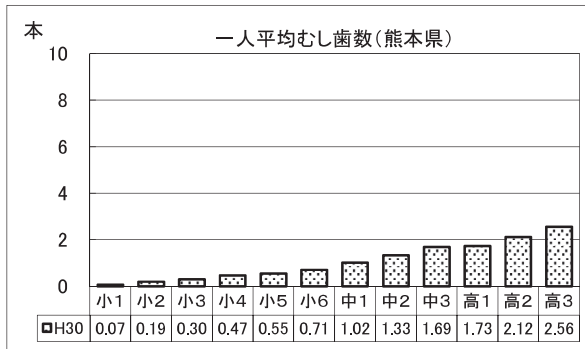
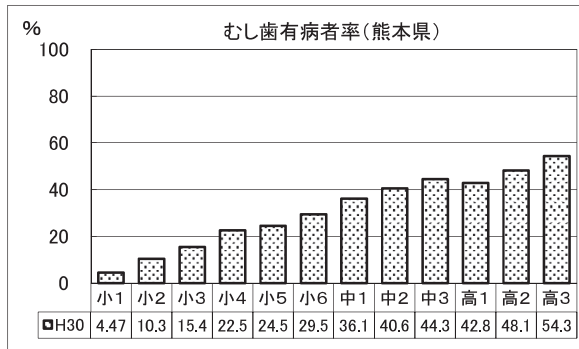
(1) 熊本県

①乳歯のむし歯の状況



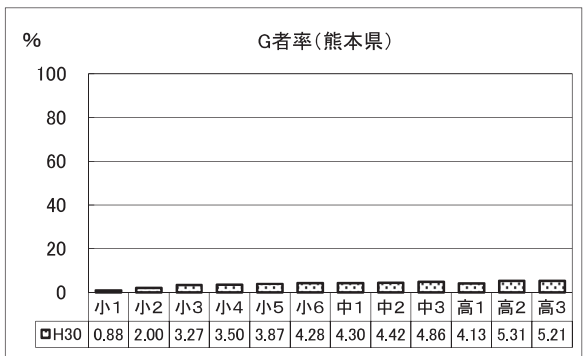
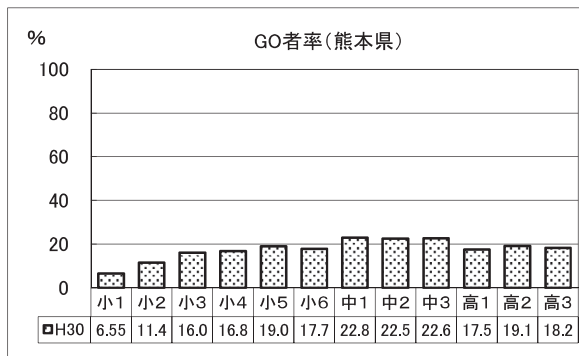
保育所・幼稚園児のむし歯有病者率及び一人平均むし歯数は、年齢とともに増加している。

②永久歯のむし歯の状況



むし歯有病者率及び一人平均むし歯数は年齢とともに増加しており、処置歯率は40%~70代と低い傾向にある。一人平均むし歯数は中学1年生で1.02本と全国平均より多いため、むし歯の予防処置が必要と考えられる。

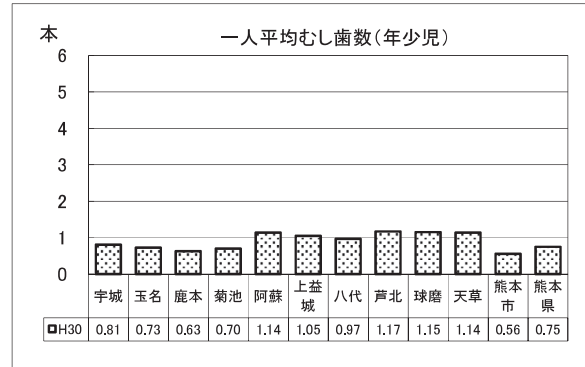
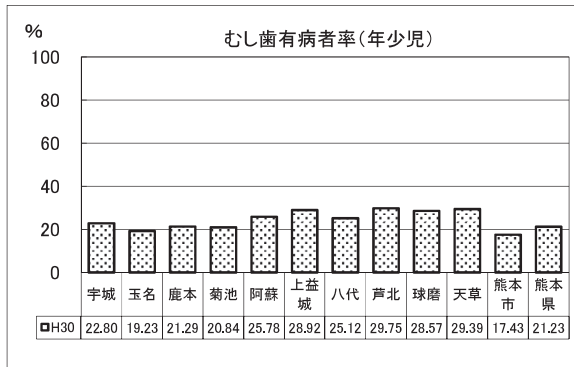
③歯肉炎の状況



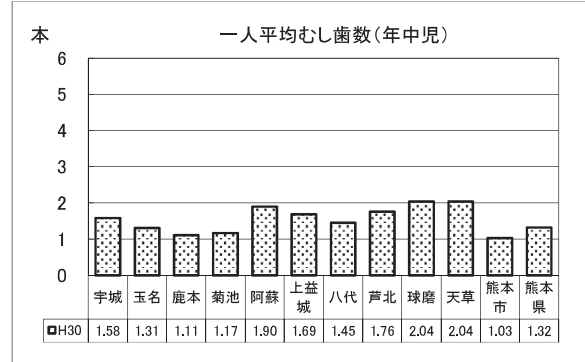
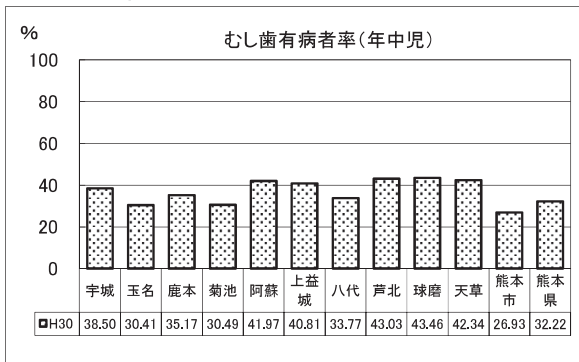
GO者率は小中学生の年齢とともに増加傾向し、中学3年生が最も多い。G者率は小学6年生から高校1年生は4%代、高校2年生、高校3年生は5%代となっており、GO者及びG者に対する個別清掃指導による歯肉炎症の改善が必要と考えられる。

④むし歯の状況(圏域)

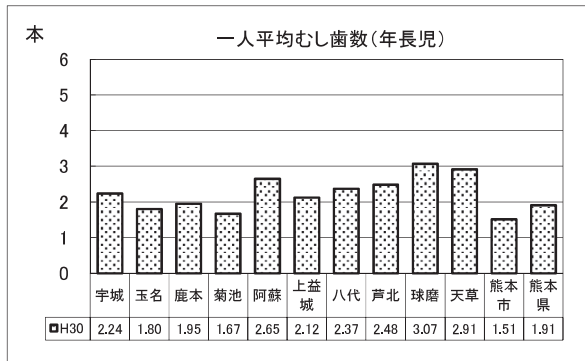
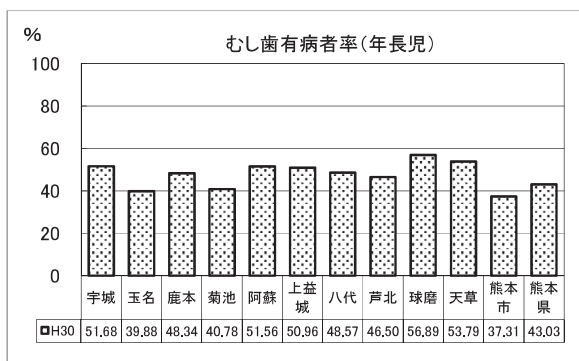
年少児(乳歯)



年中児(乳歯)

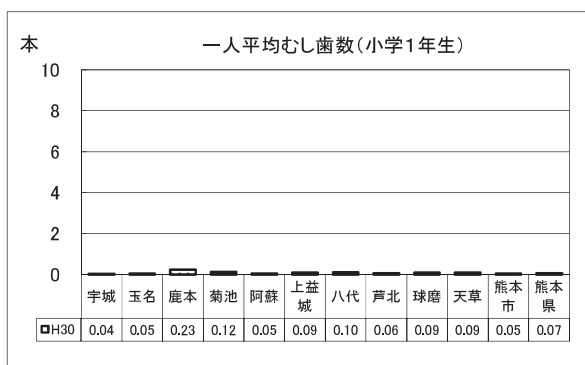
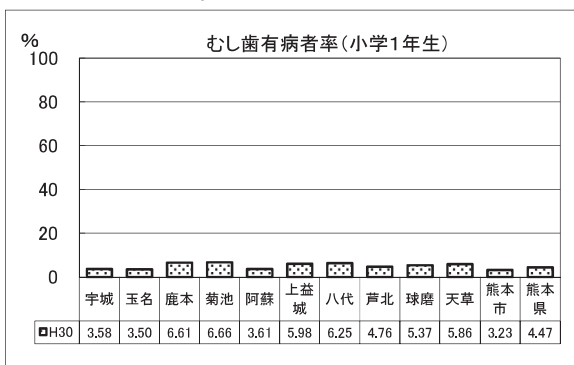


年長児(乳歯)

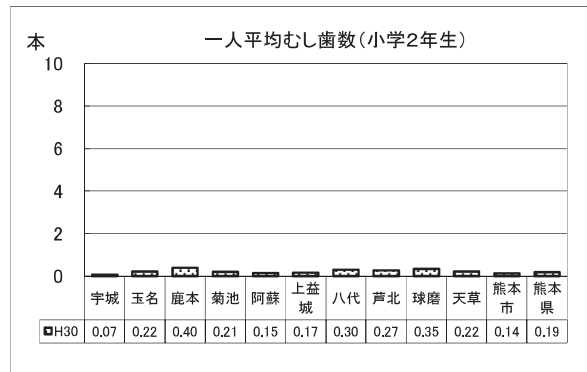
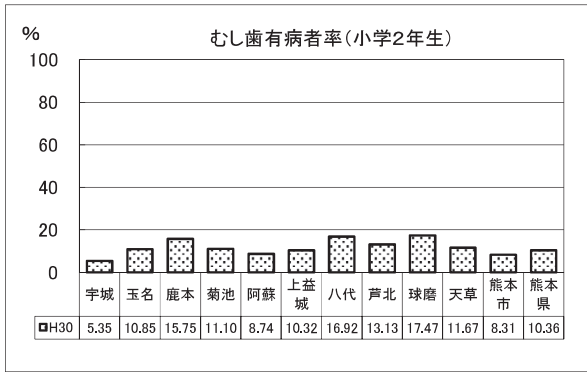


保育所・幼稚園児のむし歯有病者率及び一人平均むし歯数は、年齢とともに増加しており、年少児から年中児の時点で各々、10.99%、0.57本増加し、年中児から年長児の時点で10.81%、0.59本増加している。
 年長児のむし歯有病者率が県平均43.03%以上の地域は、宇城、鹿本、阿蘇、上益城、八代、芦北、球磨、天草地域となっている。

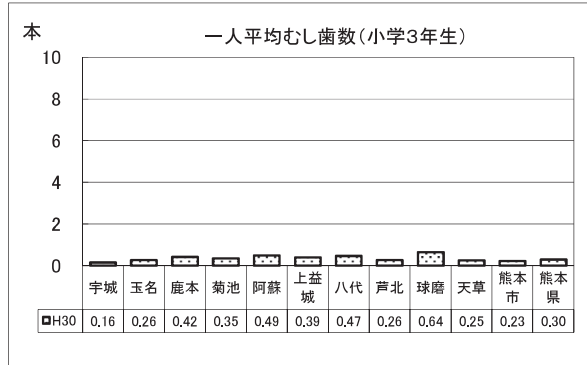
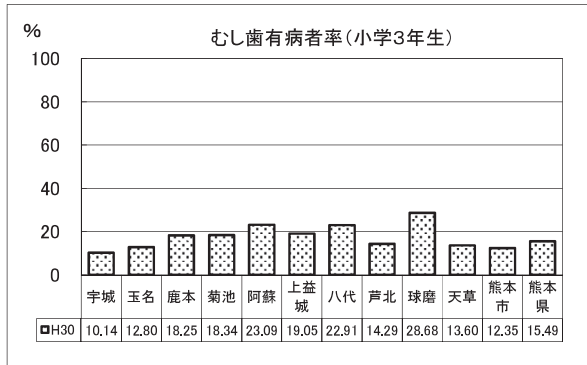
小学1年生(永久歯)



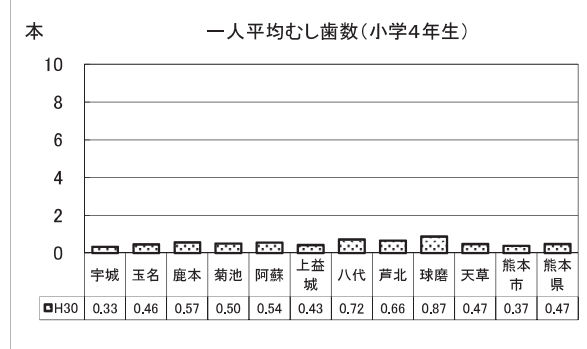
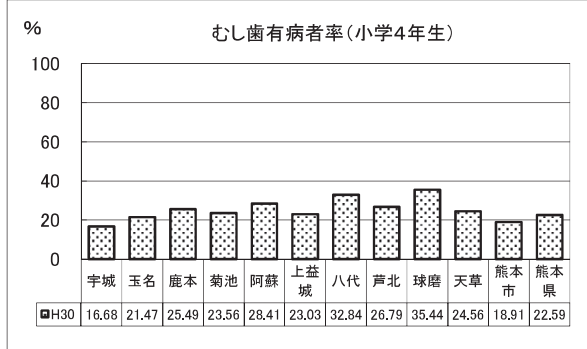
小学2年生(永久歯)



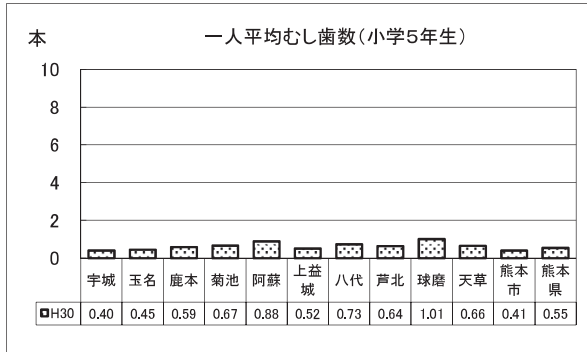
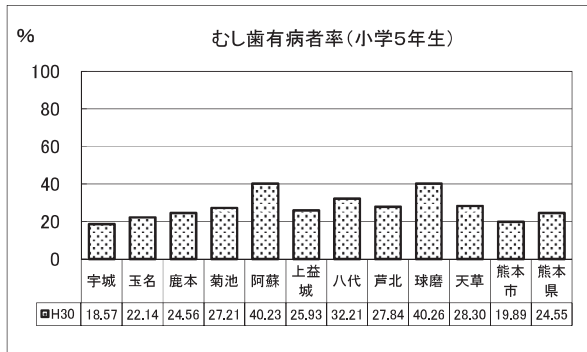
小学3年生(永久歯)



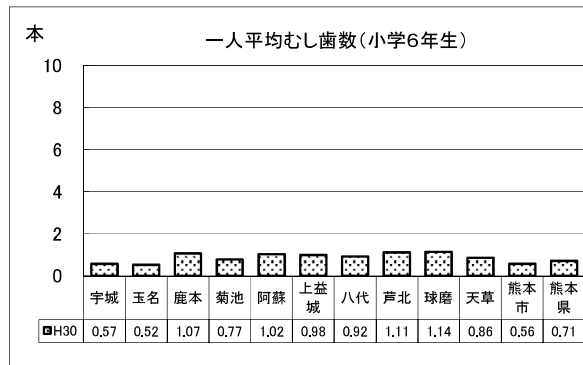
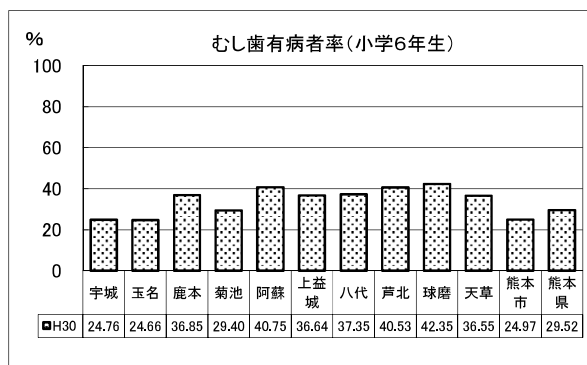
小学4年生(永久歯)



小学5年生(永久歯)

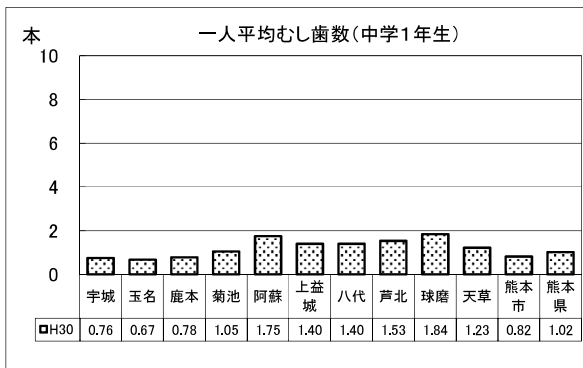
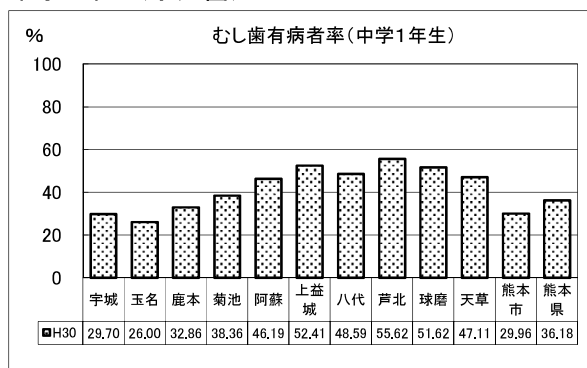


小学6年生(永久歯)

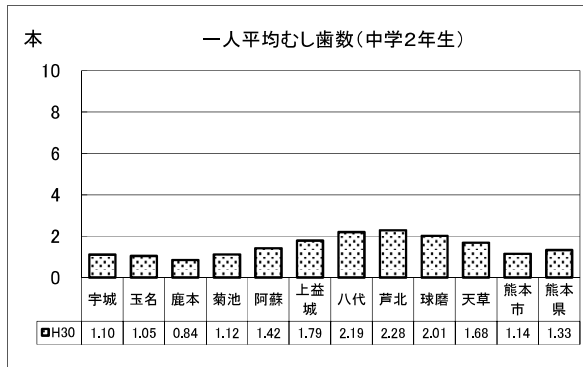
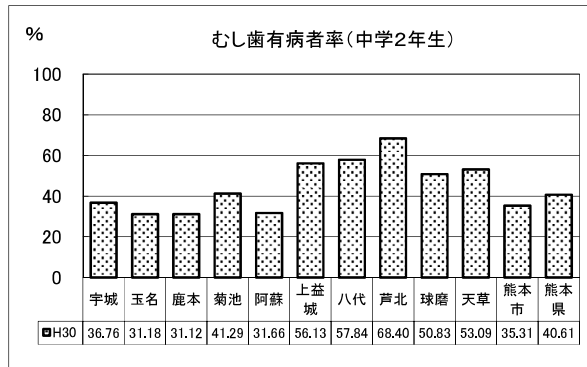


小学生のむし歯有病者率及び一人平均むし歯数は、年齢とともに増加している。

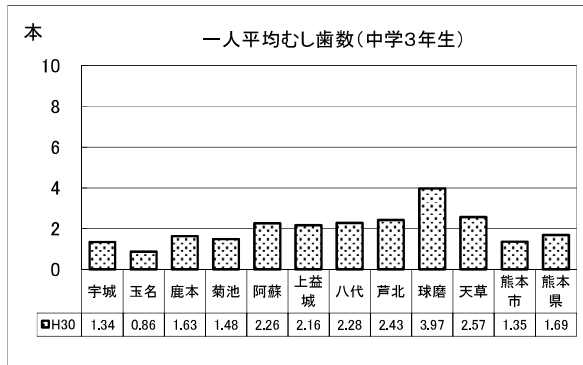
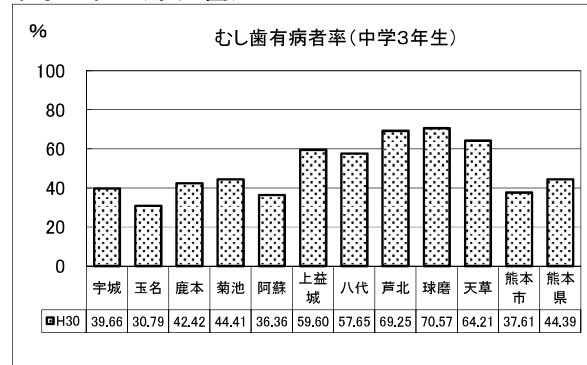
中学1年生(永久歯)



中学2年生(永久歯)

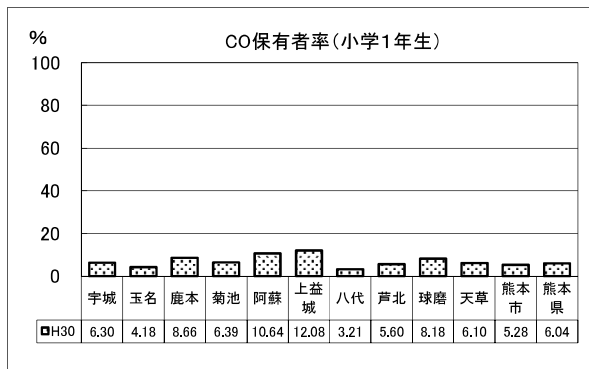


中学3年生(永久歯)

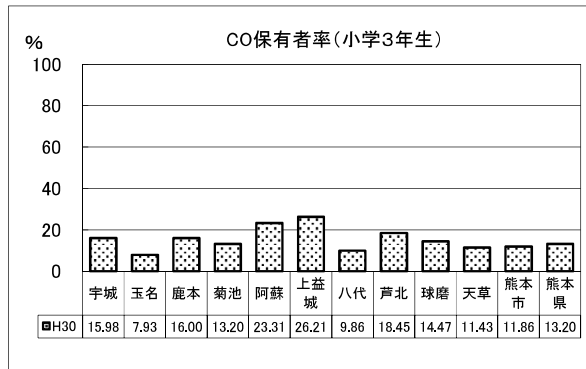


中学生のむし歯有病者率及び一人平均むし歯数は、年齢とともに増加している。
 中学1年生のむし歯有病者率が県平均36.18%以上、一人平均むし歯数が県平均1.02本以上の地域は、菊池、阿蘇、上益城、八代、芦北、球磨、天草地域となっている。

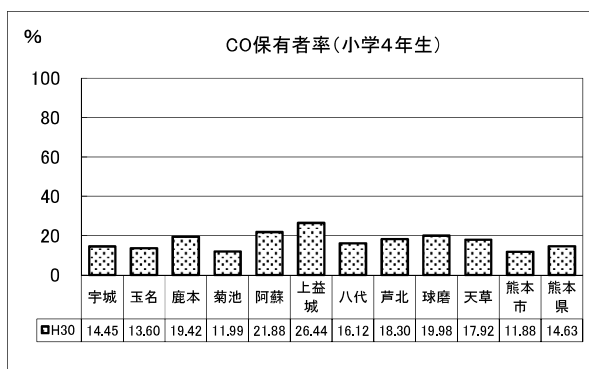
小学1年生(CO)



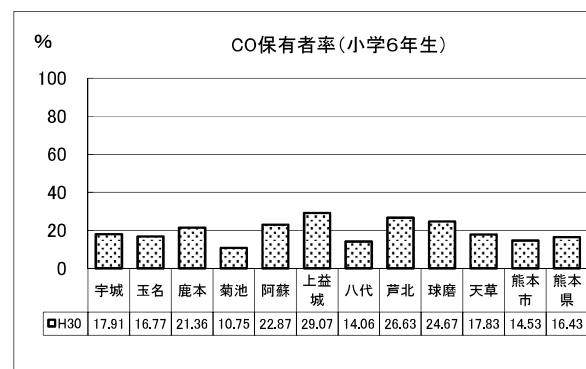
小学3年生(CO)



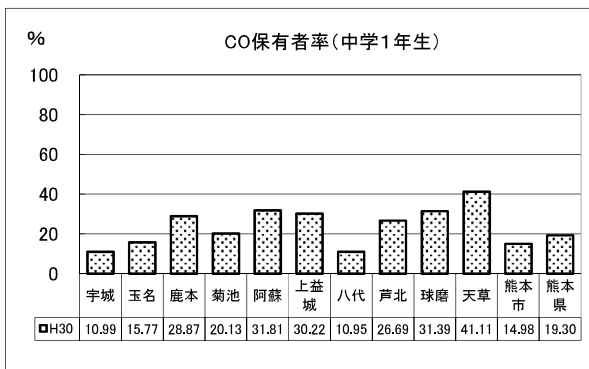
小学4年生(CO)



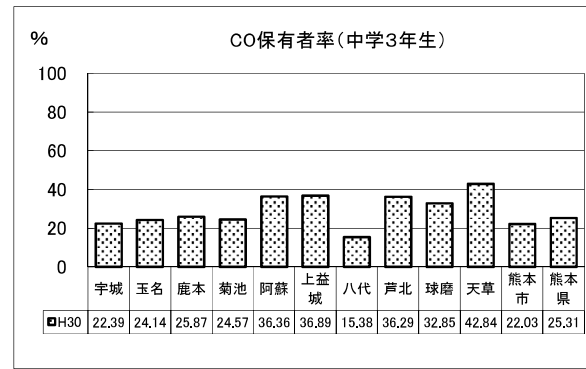
小学6年生(CO)



中学1年生(CO)



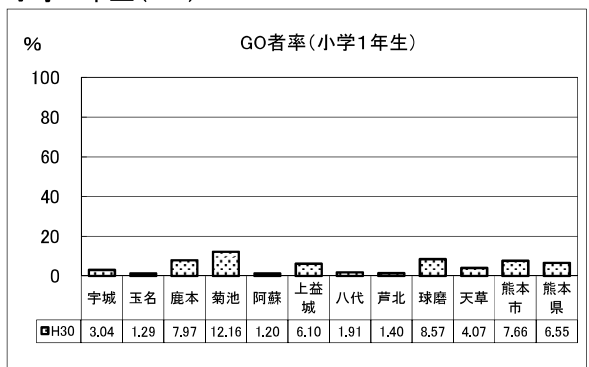
中学3年生(CO)



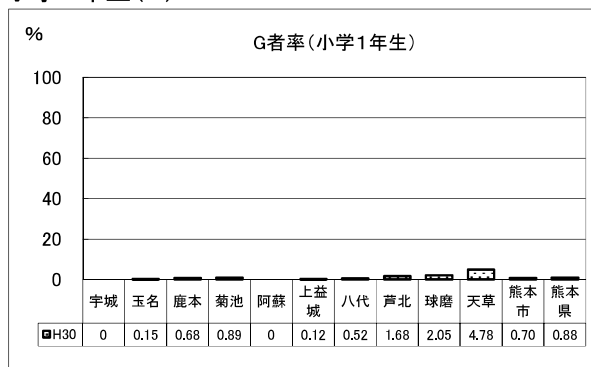
CO所有者率は、年齢とともに増加傾向にあり、小学6年生で16.43%、中学1年生19.30%、中学3年生25.31%となっており、CO所有者に対して、COからCに移行しないよう、歯科保健及びむし歯の予防処置が必要と考えられる。

⑤ 歯肉炎の状況(圏域)

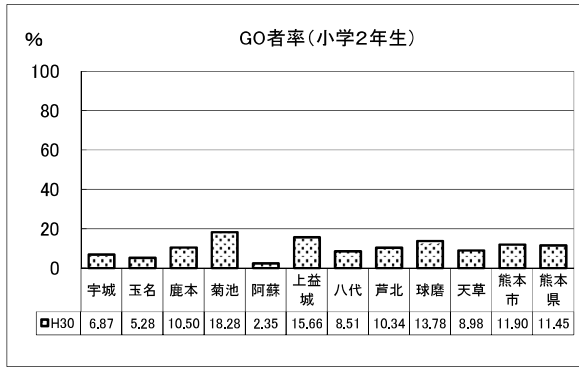
小学1年生(GO)



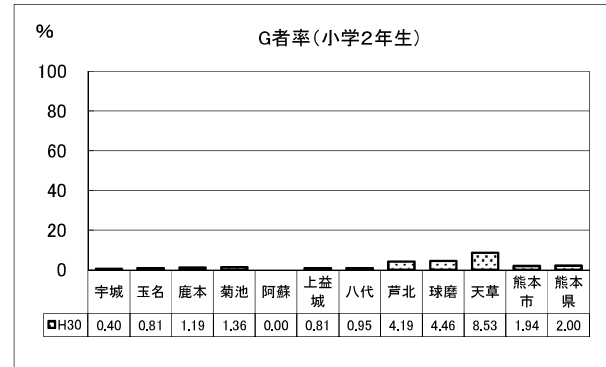
小学1年生(G)



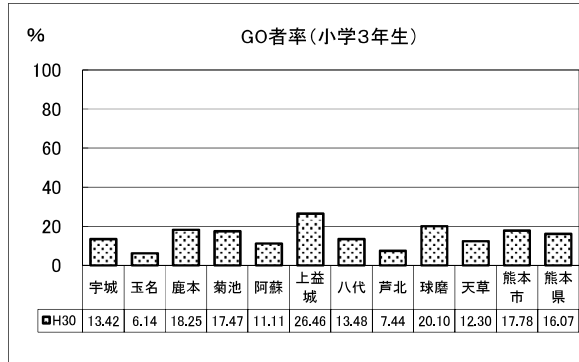
小学2年生(GO)



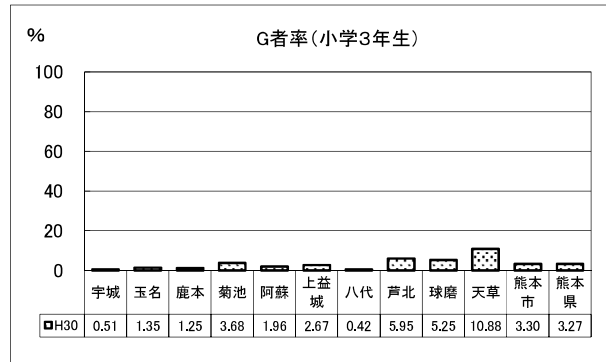
小学2年生(G)



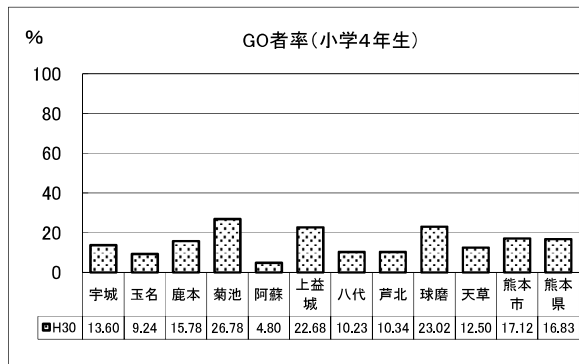
小学3年生(GO)



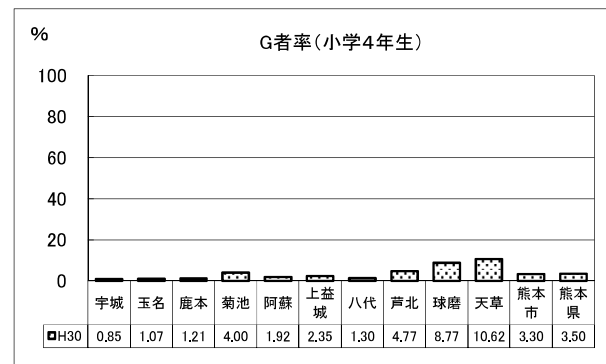
小学3年生(G)



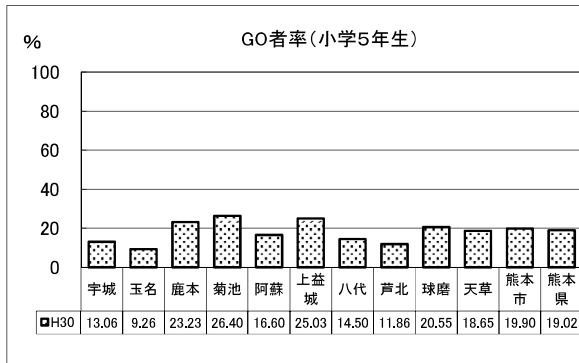
小学4年生(GO)



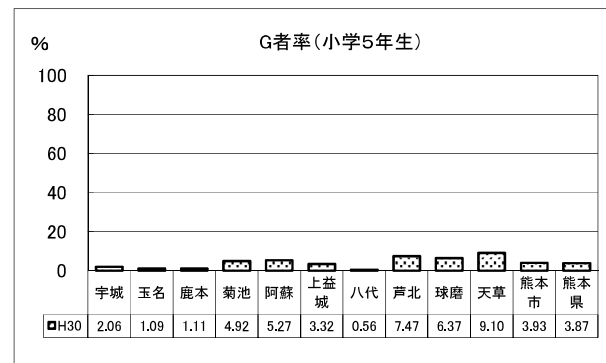
小学4年生(G)



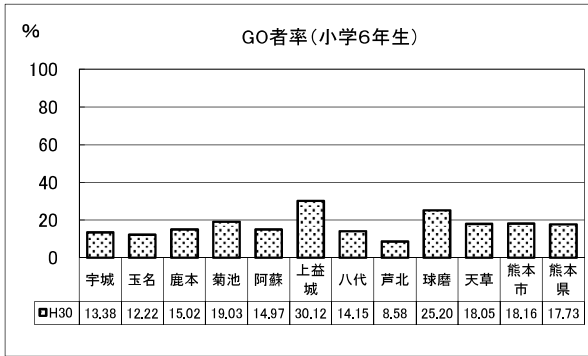
小学5年生(GO)



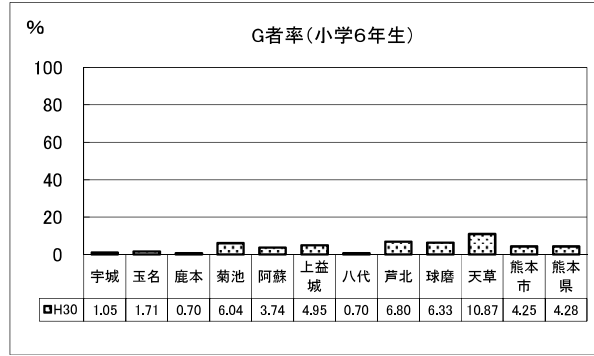
小学5年生(G)



小学6年生(GO)

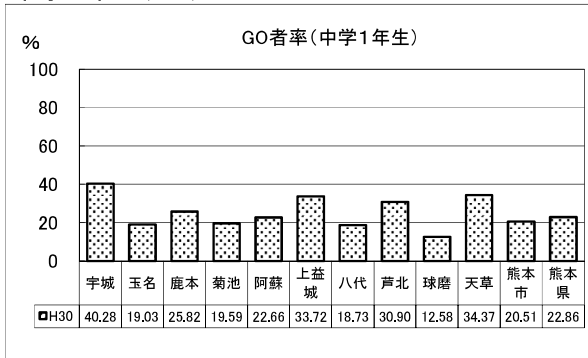


小学6年生(G)

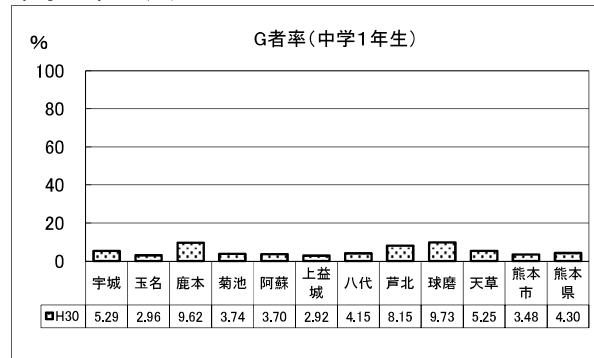


小学生のG者率は年齢とともに増加傾向にあり、小学6年生のG者率が県平均4.28%以上の地域は、菊池、上益城、芦北、球磨、天草地域となっている。GO者及びG者に対する個別清掃指導による歯肉炎症の改善が必要と考えられる。

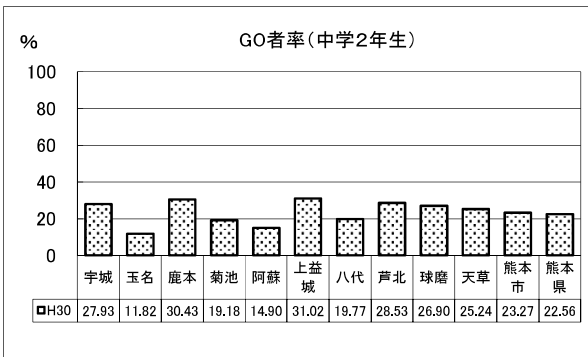
中学1年生(GO)



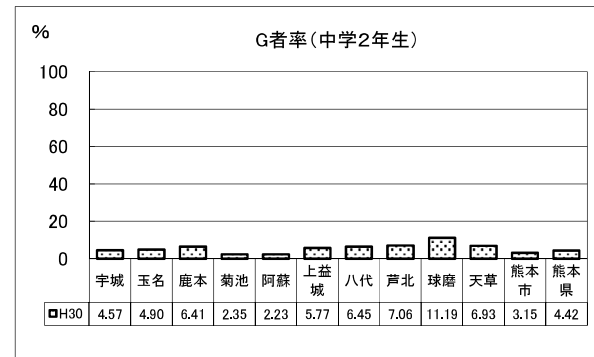
中学1年生(G)



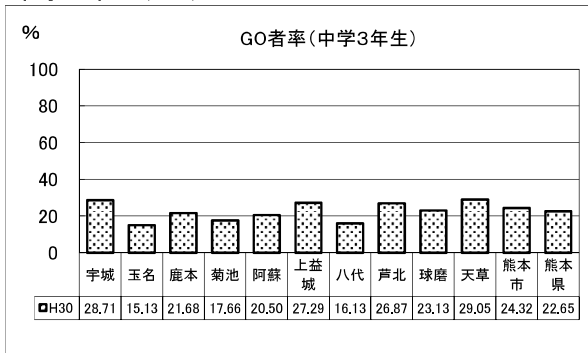
中学2年生(GO)



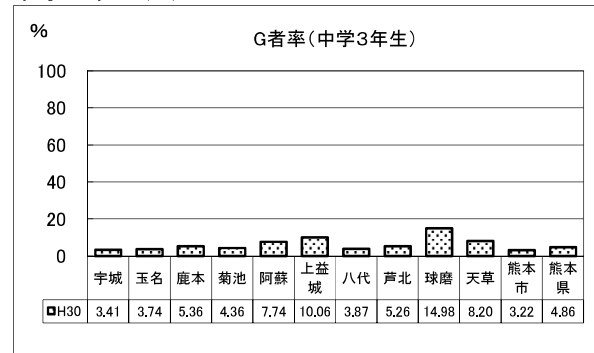
中学2年生(G)



中学3年生(GO)



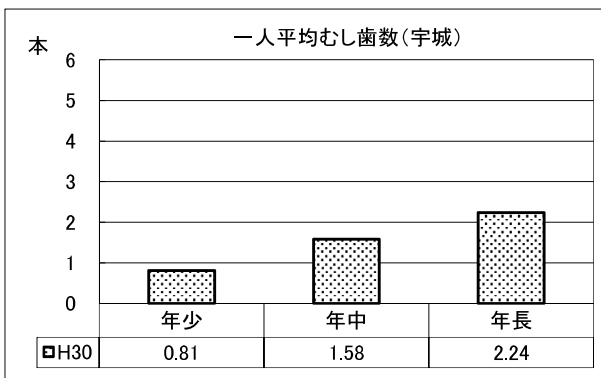
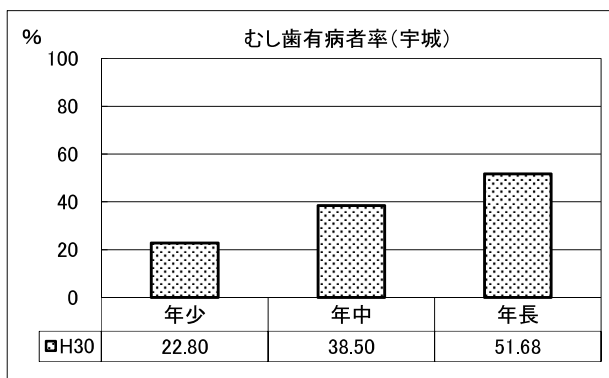
中学3年生(G)



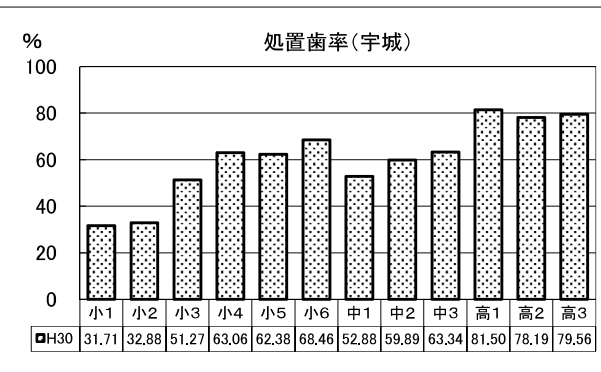
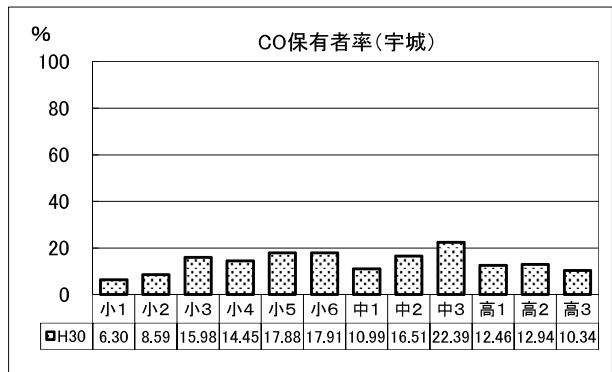
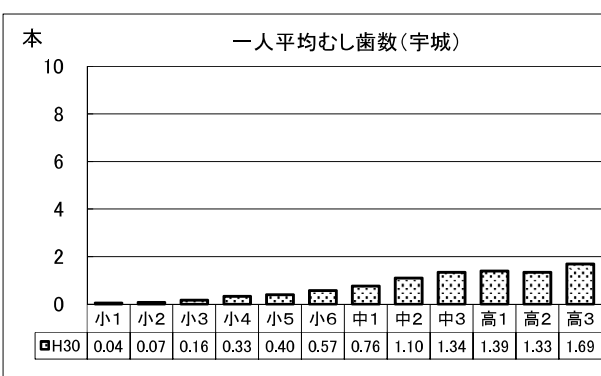
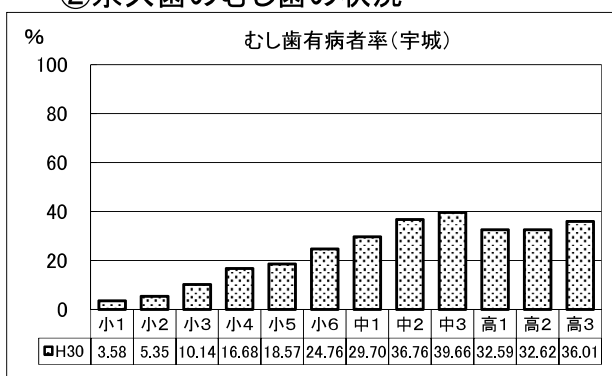
中学1年生のG者率が県平均4.30%以上の地域は、宇城、鹿本、芦北、球磨、天草地域となっている。GO者及びG者に対する個別清掃指導による歯肉炎症の改善が必要と考えられる。

(2) 宇城地域

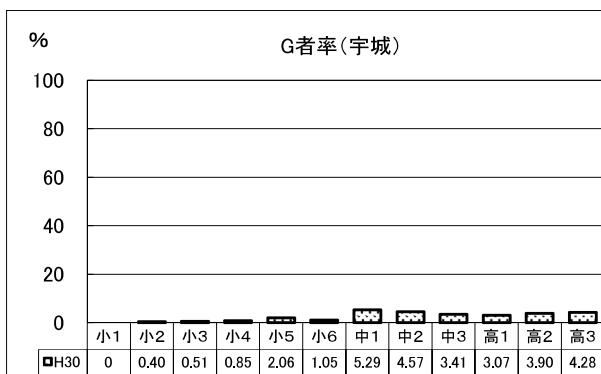
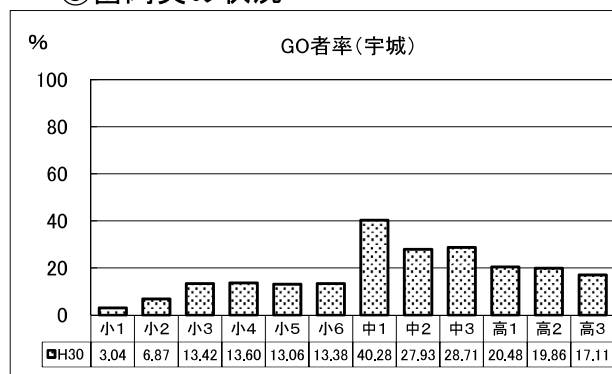
① 乳歯のむし歯の状況



② 永久歯のむし歯の状況

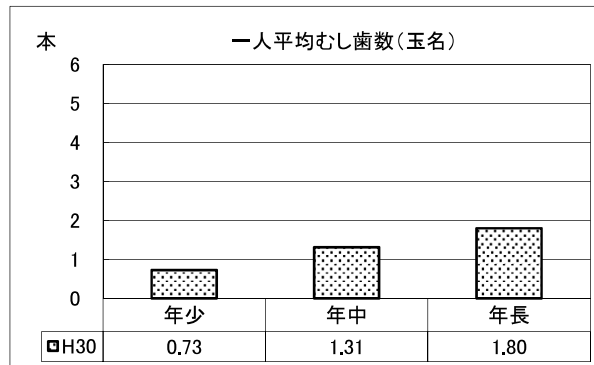
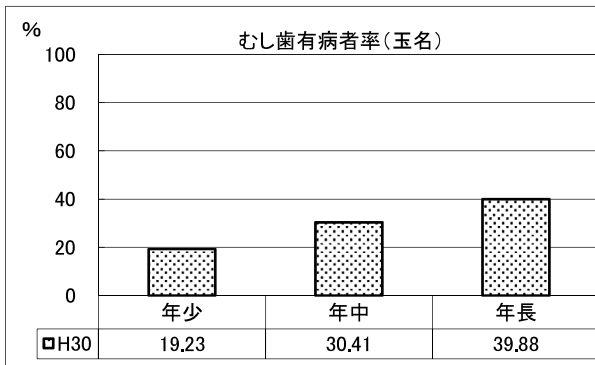


③ 歯肉炎の状況

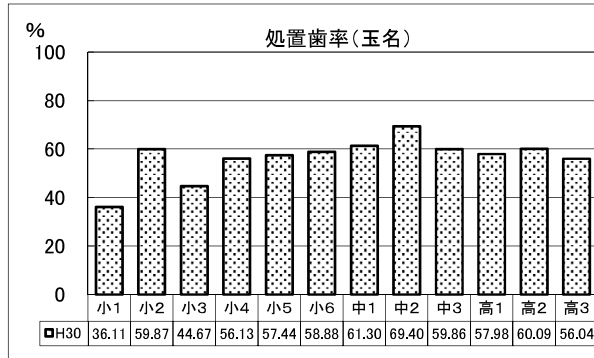
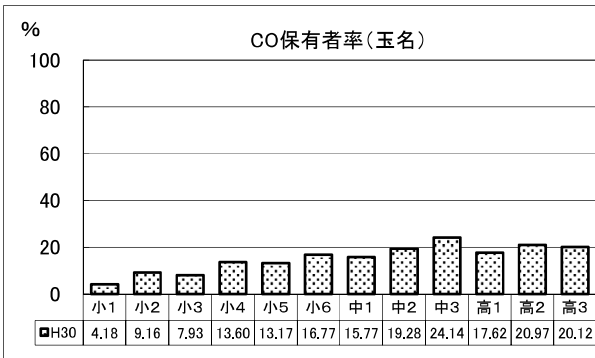
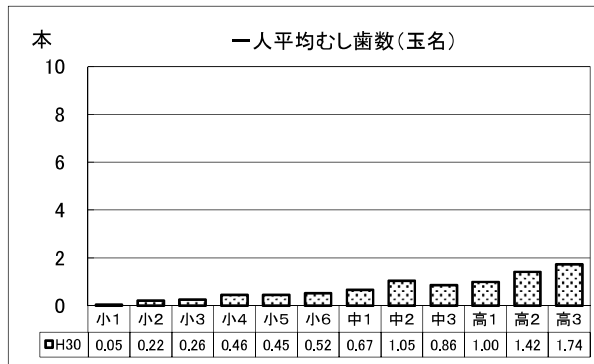
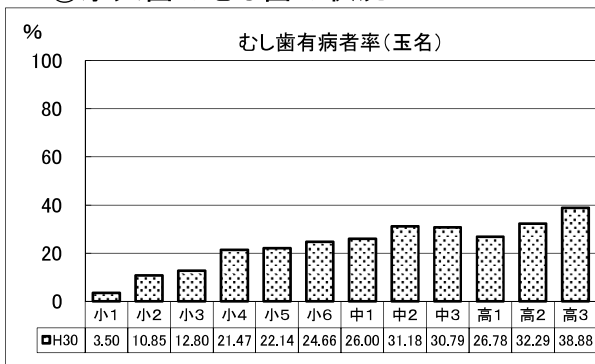


(3) 玉名地域

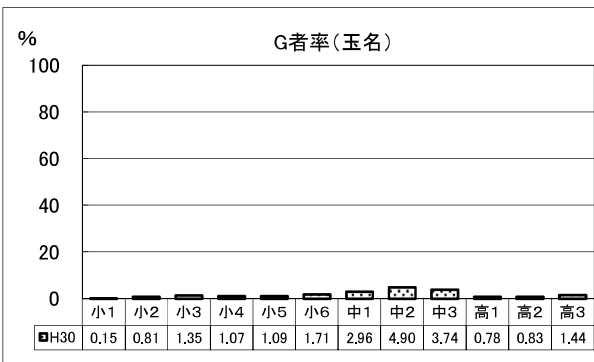
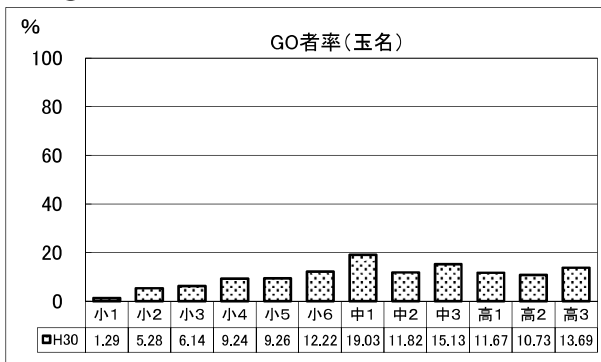
①乳歯のむし歯の状況



②永久歯のむし歯の状況

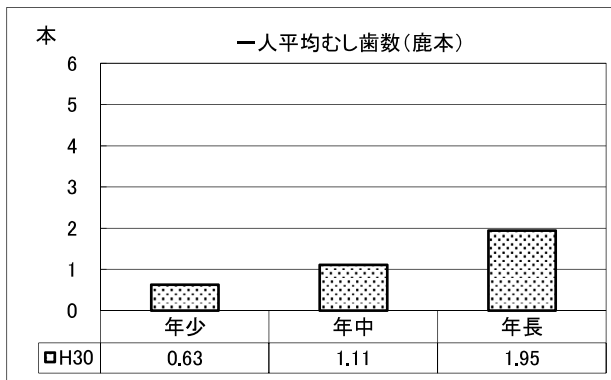
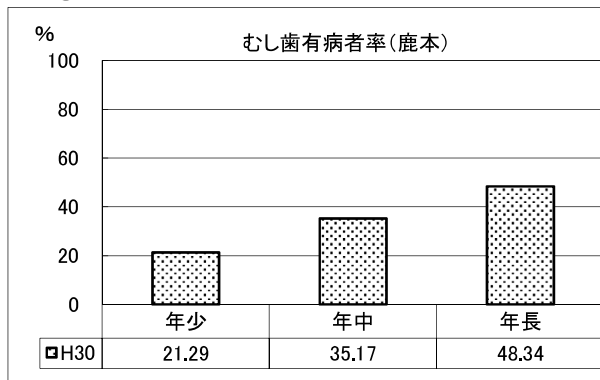


③歯肉炎の状況

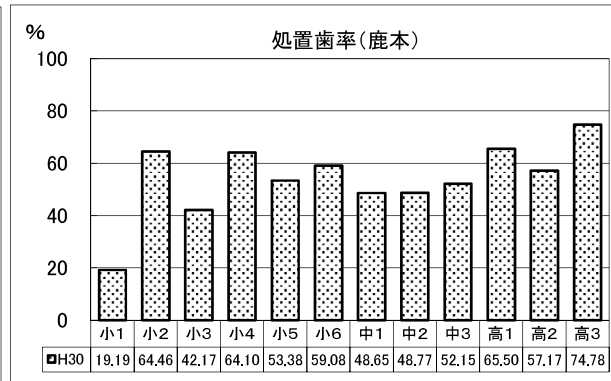
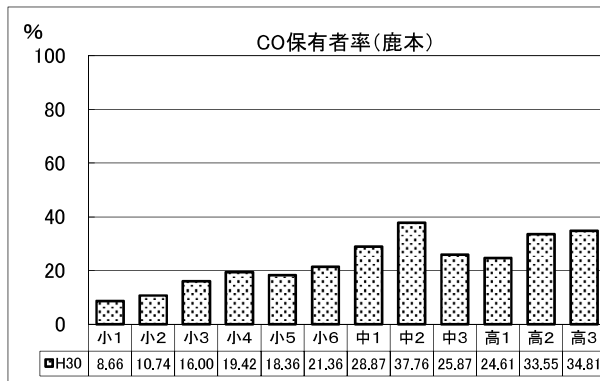
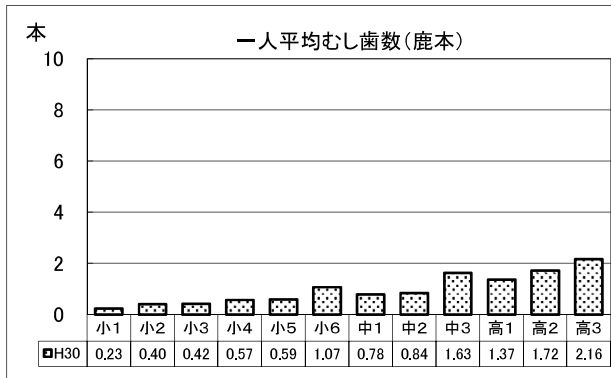
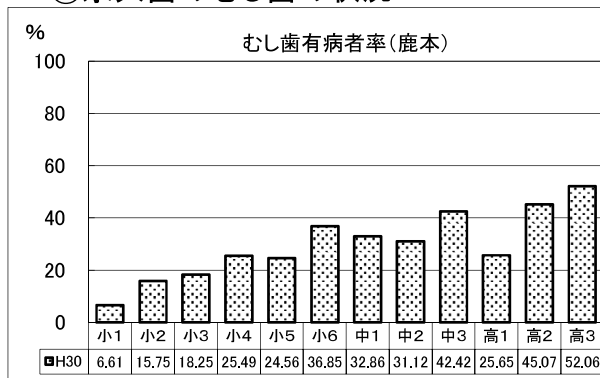


(4) 鹿本地域

① 乳歯のむし歯の状況



② 永久歯のむし歯の状況



③ 歯肉炎の状況

